

〒028-6193  
岩手県二戸市堀野字大川原毛 38 番地 2  
TEL 0195 (23) 2191  
FAX 0195 (23) 2834  
URL <http://www.ninohe-hp.net/>  
編集発行  
岩手県立二戸病院 図書広報委員会



## 「最近思うこと」

総看護師長 柚智子



新型コロナウイルスが猛威を振るうようになって、私たちの生活は大きく変化させられました。活動の自由が制限されたこと、とりわけコミュニケーションの取り方が大きく変わったと感じます。

会議に関しては、画面を通しての非接触での開催が多くなりました。必要な事項を伝える、討議する事はそれで十分（むしろ移動時間が短縮されるメリットもある）だったりします。

でも、新型コロナ以前は気軽にできていた「おしゃべり」に妙に気を遣うようになったり、楽しいはずの会食はパーティーション越しになったり。特にマスク着用により、表情から得る情報量の減少はコミュニケーションに大きく影響を及ぼしているのではないかと思います。

マスクにより口の動きが見えないことで、相手の気持ちが読みにくくなっている。また、声が聞き取りにくくなっている。コミュニケーションの機会自体が減っている。以前は簡単に伝わったことが伝わりにくくなっているのでは？と感じています。

ある市の商店街では、コミュニケーションを円滑にする目的で、マスクの下に隠された笑顔の写真を缶バッジにして、それをつけて接客をするという取り組みをしていると聞きました。お客さんは、マスクで隠れてはいるけれど、こんな笑顔で接してくれているんだと好評のようでした。

もちろん、笑顔を裏付けする声のトーンや、話し方もあるとは思いますが。

人の第一印象は 55%が見た目と言われます。なにも美人かどうかではなく、コミュニケーションをとる際の表情、特に笑顔は大切に、改めて笑顔は人の心を和やかにし、温かくしてくれるものと気づかされました。

活動の自由が制限されたことにより、ストレスの発散場所（発散の機会）が少なくなったこと、息抜きが上手くできなくなったことで更にストレスが蓄積していく・・・。どことなく人々がイライラしているようにも感じます（そう感じるのは私だけでしょうか？）

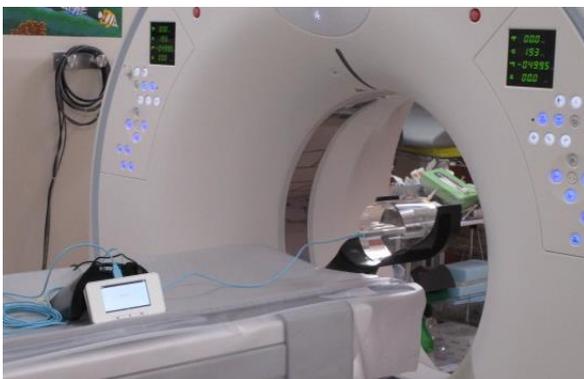
少しずつ制限は緩和されてきてはいますが、以前のように大きな口をあけて大声で笑い合ったり、何の気兼ねもなく大勢で会食したり、とはなかなかできません。ですが、マスク越しでも分かるような笑顔を一人ひとりが意識してコミュニケーションができれば、日々のストレスも幾分は和らげることができるのではないかと思います。

「明けない朝はない」「やまない雨はない」と言いますから、生まれれば終わります何事も。

## 放射線からの安全見守り隊

診療放射線技師と聞くと皆さんは何を想像しますか？ 病院にいて、息を止めさせる人。大きい押し車を押している人。他にはCTを撮ってくれた人とか、病院にいる写真屋さんね。どれも間違いではありません。我々は放射線を利用してX線写真やCT画像を撮影して医療に役立てています。

使用している放射線は人体に影響を及ぼす可能性が全くないとは言えません。ですから放射線の量をどのくらい使って撮影しているのかということを知り、放射線による安全を見守る大事な役割も担っています。我々は年に数回、予定を決めて放射線の量の測定をしています。胸部写真を撮影する放射線の量と腹部のCT撮影時の放射線の量は違います。測定の仕方も違います。正しい測定をして、撮影装置の状態や変化を確認しています。また全国での撮影時に使う量とも比べ、当院の使用している量に解離はないかという事も確認しています。さらに検査をする部屋の周りに放射線がどれくらい漏れているかを測定して安全に検査ができる環境だ(漏れていない)という事を確認し、検査を行うように取り組んでいます。



CT撮影装置の線量を測る様子



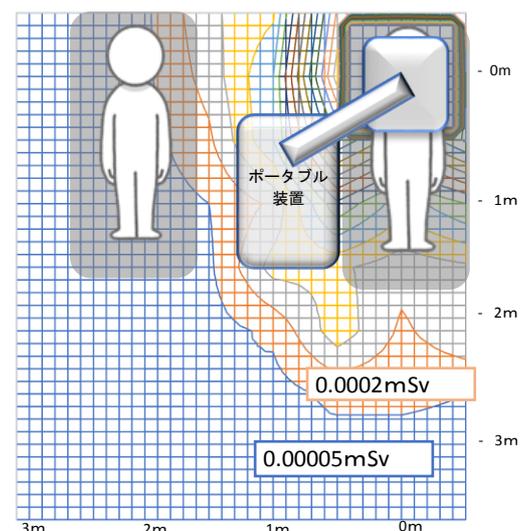
CT撮影装置の漏れる線量を測る様子

病棟に出張して撮影する事もありますが、撮影した時使用する放射線から周囲へ広がる放射線も測定し、撮影される方以外の安全性の確認もしています。

検査によっては医療スタッフも放射線を浴びてしまうことがあります。放射線を使う検査では、医療スタッフの放射線を受けられる量も法律によって決まっています。このため測定器具を装着し検査に携わっています。医療スタッフの安全確認も重要です。我々は、患者さんも医療スタッフも安心して放射線検査を受けられるよう見守っています。放射線技師が写真屋さんのほかに行っている大事な役目の紹介でした。安全、安心の放射線検査を目指して今後とも邁進していきたいです。

文責 高橋 俊裕

病室



病室撮影で周囲に広がる線量を表した図

シーベルト(Sv)とは、人体が受けた放射線による影響の度合いを表す単位です。

日本に住んでいて自然に放射線を浴びてしまう年間の放射線の量は2.1 (mSv) と言われています。(出典)放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料(平成29年度版)上の図の数値を見ても分かるように放射線は広がっていません。

## 臨床工学技士の業務範囲追加に伴う 厚生労働大臣指定による研修

主任臨床工学技士 御領 慎輔

医師の働き方改革の議論に基づく臨床工学技士法の一部改正（2021年5月28日交付、同年10月1日施行）等により、我々の業務範囲として次の行為が追加されました。

1. 血液浄化装置の穿刺針その他の先端部の表在化された動脈若しくは表在静脈への接続又は表在化された動脈若しくは表在静脈からの除去  
※従来の業務範囲であった「シャントへの接続又はシャントからの除去」に追加
2. 生命維持管理装置を用いた治療において当該治療に関連する医療用の装置（生命維持管理装置を除く）の操作（当該医療用の装置の先端部の身体への接続又は身体の除去を含む）
  - ① 手術室又は集中治療室で生命維持管理装置を用いて行う治療における静脈路への輸液ポンプ又はシリンジポンプの接続、薬剤を投与するための当該輸液ポンプ又は当該シリンジポンプの操作並びに当該薬剤の投与が終了した後の抜針及び止血（輸液ポンプ又はシリンジポンプを静脈路に接続するために静脈路の確保する行為についても、「静脈路への輸液ポンプ又はシリンジポンプの接続」に含まれる。）
  - ② 生命維持管理装置を用いて行う心臓又は血管に係るカテーテル治療における身体に電氣的刺激を負荷するための装置の操作
  - ③ 手術室で生命維持管理装置を用いて行う鏡視下手術における体内に挿入されている内視鏡用ビデオカメラの保持及び手術野に対する視野を確保するための当該内視鏡用ビデオカメラの操作

しかし、2025年4月1日より前に臨床工学技士の免許を受けた者については「臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修」の受講が必須となります。研修内容としては基礎研修として20時間の「オンデマンド型eラーニングによる基礎的な知識を習得」および実技研修として2日間の「模擬医療機器等を用いた実技の習得」を受講し、受講料が38,000円となっています。

実技研修については、開催会場に限られるということもあり、都市部での開催が主流となっていますが、2022年9月3、4日に岩手県の「ツガワ未来館アピオ」で開催されました。

本研修会へは94名の参加者が来場され、当院からも1名が受講しております。告示研修の受講状況は全国で4,825名（2022年7月末）となっています。今後も、当院の他のスタッフについても早期に受講完了できるよう調整を行っていきたいと思います。



## 二戸病院出前講座

二戸病院では、地域の皆様との交流、健康づくりのお手伝いとして、専門看護師による出前講座を用意しております。地域の皆様との交流を深めるとともに、当院への御理解を深めていただくような講座となれば幸いです。

皆様の地区やグループ、団体等に伺って講座を開催いたしますので、どうぞお気軽に御相談ください。

### ◆お申込み・お問合せ◆

連絡先：岩手県立二戸病院 看護事務室

電話：0195-23-2191

FAX：0195-23-2834

メール：ea1014@pref.iwate.jp（いずれも代表番号）

下記に記載されている講座名の中から、お好みのテーマをお選びください。

日時調整：要望に添えるようにできるだけ調整いたしますので、まずは御相談ください。

費用：無料です

お申込み用紙は当院のホームページから入手できます。

ホームページアドレス：<https://www.ninohe-hp.net/hp-info/demaekouza.php>

### ◆出前講座メニュー◆

講 師	No.	内 容
感染管理認定看護師	1	季節性感染症対策（インフルエンザ・ノロウイルス他）
	2	介護施設・高齢者施設・保育所・学校における感染対策
	3	食中毒・感染性胃腸炎等について
	4	手指衛生・ゾーニング・PPE着脱等について
皮膚排泄ケア認定看護師	5	褥瘡に関すること（予防・スキンケア・処置等）
	6	排泄ケア（おむつの当て方・おむつの選び方・スキンケア等）
小児看護専門看護師・ 新生児集中ケア認定看護師	7	医療的ケア児のケアについて（喀痰吸引・人工呼吸器・経管栄養等）
	8	学校・保育所での初期対応（外傷・熱中症・けいれん・エピペン使用法等）
	9	養護教諭が行う医療的ケアと初期対応
	10	1型糖尿病の学童への対応
	11	乳幼児の感染症対応
	12	重症心身障がい児のケア
	13	赤ちゃんのおむつかぶれ対策
緩和ケア認定看護師	14	緩和ケアについて
	15	症状コントロールについて
	16	治療、療養先等の意思決定支援について
	17	家族ケアについて
がん化学療法看護認定看護師	18	抗がん剤の取り扱い（内服薬・注射薬）
	19	C Vポートの取り扱い
	20	抗がん剤治療中の生活について

二戸病院広報「ざしきわらし」第38号（令和4年10月18日発行）

編集発行：岩手県立二戸病院 図書広報委員会

〒028-6193 岩手県二戸市堀野字大川原毛38番地2

TEL 0195 (23) 2191 ・ FAX 0195 (23) 2834

URL <http://www.ninohe-hp.net/>